



# 姉妹都市交流親善団交流体験記

中学生団員 12 名を中心に構成された三好市姉妹都市交流親善団 17 名が 11 月 5 日から 11 日までの 7 日間、姉妹都市であるアメリカ合衆国 オレゴン州ザ・ダルズ市などを訪問しました。ホームステイを通じ、アメリカの大自然や文化に身近に触れるとともに、多くの方々とコミュニケーションを通じて、新たな友情が生まれる貴重な経験となったようです。

## ダルズ

ダルズは土地が広く迷子になるくらいでした。ほとんどの人が車で移動しているのに信号が少なく、ホストファミリーの車の助手席に座っていた時、皆が道を譲りあつていてのを見てダルズの人は優しいと思いました。中学校や高校では同じ歳ぐらいなのに皆大人っぽく見え、アメリカの学校は日本とは違い雰囲気柔らかくて和やかな場所でした。苦手だった英語が日常会話ぐらいはできるようになり、またアメリカに行く機会があれば今度は 1 週間以上行きたいです。

(三野中学校 3 年 大浦 優之介)

## 中

学校では紙の教科書ではなく 1 人 1 台パソコンを使って学習をしていました。ダルズ高校は全校生徒 1300 人の大きな学校で、美術クラスに参加し一緒に粘土で箱を作り、英語でコミュニケーションがとれたのでうれしかったです。ホームステイ先はワイン会社で工場見学をさせてくれました。会社の主商品であるコパワインのグラスは日本で作っていると教わり、日本とダルズ市との繋がりを感じました。

(三野中学校 3 年 小谷 宝)

## 日

日本の文化として『ちらし寿司・折り紙・書道』をホストファミリーに伝えてきました。特に印象に残ったのが「書道」でした。アメリカにはない文化にみんな苦戦していましたが、とても楽しそうに書いてくれました。お母さんに「お手本を書いて」と言われたので、ここぞとばかりに張り切って書きました。英語で日本の文化を上手く表現するのは難しかったけれど理解してくれた時の喜びは忘れられない経験となりました。これを機によりいつそう英語の勉強に励みたいと思います。

(三野中学校 2 年 宮本 楓)

## コ

コミュニケーションの大切さを実感しました。全く異なる環境の中で、相手にどうしたら伝わるのかを必死で考え、身振りや知っている単語を使って会話をしました。相手に通じたときはとてもうれしくなりもっと話したいと感じました。また、アメリカでの食事に驚きました。味や量など日本と違うことが多くびっくりしましたが、ホストファミリーのお母さんが毎回心をこめて用意してくださいました。特にサーモン料理がおいしかったで

## 印

象に残ったことは、表現方法の違いです。日本人と比べて外国の人はオーバーアクションでした。また、分かれやすく丁寧に対応してくれ、国籍など関係なく受け入れる国民性や学校の自由な校風に文化の違いを感じました。こういった文化の違いを肌で感じることで、また日本文化の良さも改めて考えることができました。この機会を与えてくれたことに感謝し、感謝の気持ちを持ち生活していきます。

(井川中学校 3 年 堀江 千尋)

## 最

も心に残ったのはダルズ学校と比べ自由な雰囲気での生徒も授業の内容に興味を持って学んでいました。私もこんな学校で学んでみたいと思いました。ホームステイ先では、お互いの家族について話し合ったり、折り紙を折ったりしました。外国から来て知り合いでもない私を家族のように受け入れてくれてありがたいと思いました。将来外国の方と交流する機会があれば、この経験を無駄にせず、次は私が温かく迎える側になれるようにします。

(山城中学校 3 年 泉 このみ)

## ホ

ームステイしたジェフ氏さんの家族は 4 人の子どものアメリカはどう？」「疲れてない？」など優しい言葉をたくさんかけてもらい、安心して嬉しかったです。2 番目と 3 番目の女の子が歳も近く、「いつもゲームをしよう」とか、「写真を撮らないか」と誘ってくれました。今回素晴らしい体験をさせていただき、ホストファミリーや関係者の皆さま、家族にとっても感謝しています。自分の思いがスムーズに伝えられるようにもつと勉強をし次は 1 か月間のホームステイにチャレンジしたいです。

(井川中学校 2 年 葉手 尻実咲)

## 特

にアメリカの学校に驚きに髪を染めていたりつけ爪をしていたり。また、授業ではパソコンを頻繁に使っていました。校内も日本よりもカラフルでした。高校での理科の授業も衝撃でした。本物の猫を解剖していたからです。そんな日本ではあり得ないような体

## ホ

ストファミリーと一緒に夜ご飯を作ったことが一番印象に残りました。どの料理も初めて作ったものでとても勉強になったし、何よりたくさん英語で話をしながら作られたのがとてもうれしかったです。本当の子どものように接してくれました。ダルズ市は空気がとても綺麗で景色を一望できる場所もありいい所でした。ダルズの人がダルズ市の素晴らしさをたくさん教えてくれたので、今度は私が知り合いにダルズ市の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

(山城中学校 3 年 東浦 花梨)

## 日

本では夕食時家族が揃ってから食べますが、ホストファミリーの家では、自分で食べられる量を取った人から食べていびつくりしました。派遣事業を通じ自分が前より積極的になったと思います。学校でおもてなしの授業をした時にはなかなか話しかけられなかったけど、優しく明るいホストファミリーの家で過ごしている貴重な経験をさせてもらったら、最後の日には自分から他のホストファミリーにも話しかけることができました。

(西祖谷中学校 3 年 小林 楓奈)

## 各種交流団員

アメリカの学校は日本より学習環境を導入していました。日本の教育機関では教師が前で話すことを生徒はノートに取り静かに勉強する受け身型が多いのに対し、ダルズの学校ではグループ学習がしやすいよう机が配置され、生徒 1 人が 1 台パソコンを持ち課題はデータ形式で提出するという形でした。また自分で住みやすい家を設計するなど創造性のある取り組みも多く見ることができました。今後、日本の教育現場にも IT 化がさらに広がっていくと思います。今回の研修で先進的な取り組みが行われている現場を見ることで変化の早いこの時代に私も柔軟に対応しようと思えました。

(四国大学 3 年 中川 湧登)

